

目 次

第1章	はじめに	2
1	はじめに	3
2	国のデジタル田園都市国家構想総合戦略における基本的な考え方	4
第2章	基本方針	5
1	第3期沼田町総合戦略の概要	6
2	沼田町の地域ビジョン（目指すべき理想像）	7
3	目標設定	9
4	取組み体制とPDCAサイクルの確立	10
5	持続可能な開発目標（SDGs）の推進	10
第3章	具体的な施策	11
1	具体的な施策	12
2	総合戦略の全体構成	15
3	総合戦略の具体的な施策	16
	基本目標1	16
	基本目標2	23
	基本目標3	31
	基本目標4	37

第1章 はじめに

1 はじめに

2014年度（平成26年度）に、まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）が制定され、2014年（平成26年）12月27日に国の人口と現状、将来展望を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定され、これを受けて地方公共団体も、国の長期ビジョン総合戦略を勘案して、地域将来展望を提示する地方人口ビジョン及び地域の実情に応じた地方版総合戦略を策定することになり、2015年度（平成27年度）に沼田町においても「沼田町総合戦略」及び「沼田町人口ビジョン」を策定しました。

その後、国では第1期の5年間の施策の検証を行い、優先順位も見極めながら、「継続は力なり」という姿勢を基本にし、より一層地方創生を充実・強化するため、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」が2019年（令和元年）12月20日に閣議決定されたことから、沼田町においても、第1期の枠組みを継承しつつ、これまでの取組みの検証や沼田町第6次総合計画を勘案し、切れ目のないよう「第2期沼田町総合戦略」を2020年度（令和2年度）から、分野ごとに設定した4つの基本目標の下、具体的な施策を組み立て、取組みを進めてきました。

一方、国では「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す「デジタル田園都市国家構想」の実現を図るため、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略を抜本的に改訂し、2023年度（令和5年度）を初年度とする5か年の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を新たに策定し、2022年（令和4年）12月23日に閣議決定されました。

これを受けて、沼田町においても、これまでも進めてきた地域の社会課題解決や魅力向上に向けた地方創生の取組みをデジタルの力を活用して継承・発展させていくために、「第3期沼田町総合戦略」を策定しました。

また、「沼田町人口ビジョン」についても2015年度（平成27年度）の策定当初の目標数値と現状の人口目標に乖離が生じていることから併せて見直しを行いました。

2 国のデジタル田園都市国家構想総合戦略における基本的な考え方

- ・ テレワークの普及や地方移住への関心の高まりなど、社会情勢がこれまでとは大きく変化している中、今こそデジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。
- ・ 東京圏への適度な一極集中の是正や多極化を図り、地方に住み働きながら、都会に匹敵する情報やサービスを利用できるようにすることで、地方の社会課題を成長の原動力とし、地方から全国へとボトムアップの成長につなげていく。
- ・ デジタル技術の活用は、その実証の段階から実装の段階に着実に移行しつつあり、デジタル実装に向けた各府省庁の施策の推進に加え、デジタル田園都市国家構想交付金の活用等により、各地域の優良事例の横展開を加速化。
- ・ これまでの地方創生の取組みも、全国で取り組まれてきた中で蓄積された成果や知見に基づき、改善を加えながら推進していくことが重要。

施策の方向

(1) デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

- ①地方に仕事をつくる
- ②人の流れをつくる
- ③結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④魅力的な地域をつくる

(2) デジタル実装の基礎条件整備

- ①デジタル基盤の整備
- ②デジタル人材の育成・確保
- ③誰一人取り残されないための取組み

第2章 基本方針

1 第3期沼田町総合戦略の概要

①沼田町の地域ビジョン（目指すべき理想像）

子どもたちが誇りをもてる ふるさと創造 沼田町
 ～夢とやさしさにあふれる 小さな町の大きな挑戦～

②計画期間

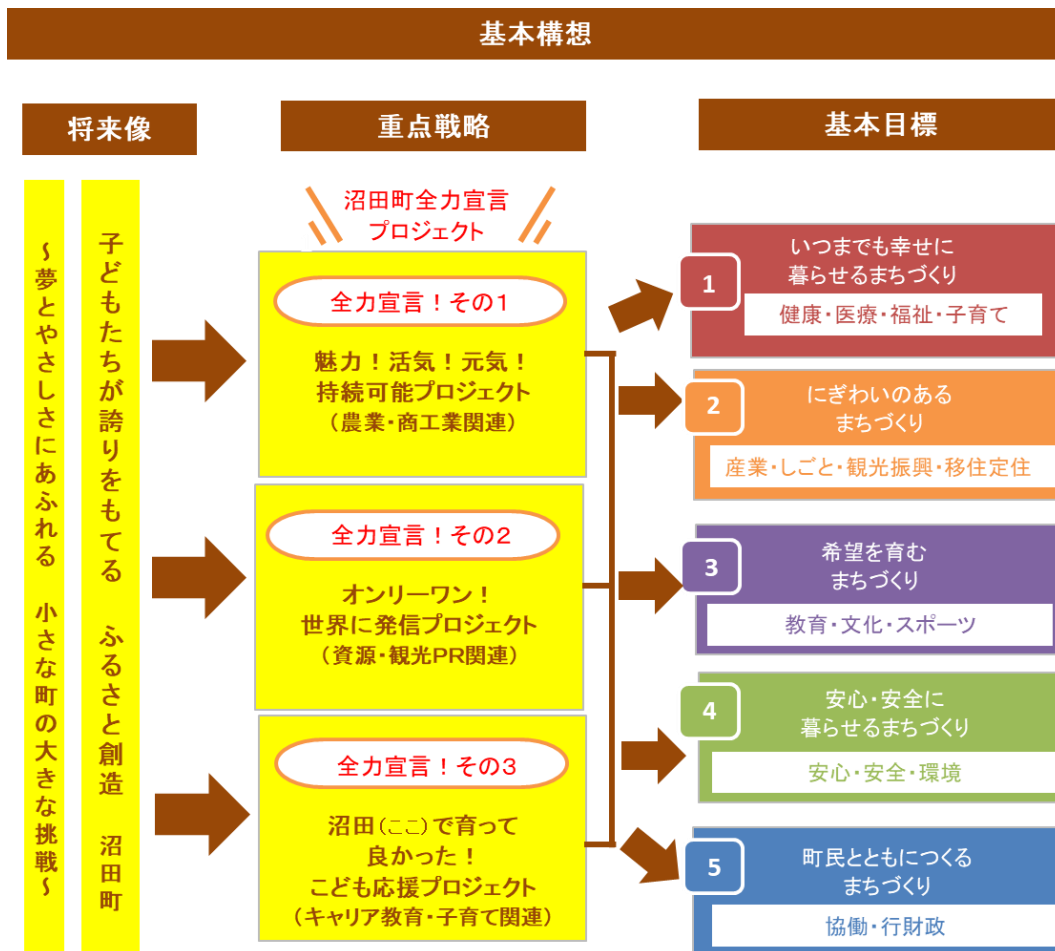
2025年度（令和7年度）～2029年度（令和11年度）

③総合計画等との関係

「第3期沼田町総合戦略」は、沼田町のまちづくり最上位計画である「沼田町第6次総合計画」に位置付けた各事業を、地方創生及びデジタル技術を活用した人口減少・少子高齢化などの社会課題解決の観点から、基本目標や施策に関する基本的方向に沿って再構成したものです。また、その他各分野における個別計画等との連携を図るものとします。

地方創生に取り組むうえで、町民と協働のまちづくりを進め、各町との連携をより強化し定住自立圏の取組みを進めていきます。

【図表 第6次沼田町総合計画構成図】



④第3期沼田町総合戦略の構成

（1）基本目標、（2）施策に関する基本的方向、（3）具体的な施策によって構成します。

2 沼田町の地域ビジョン（目指すべき理想像）

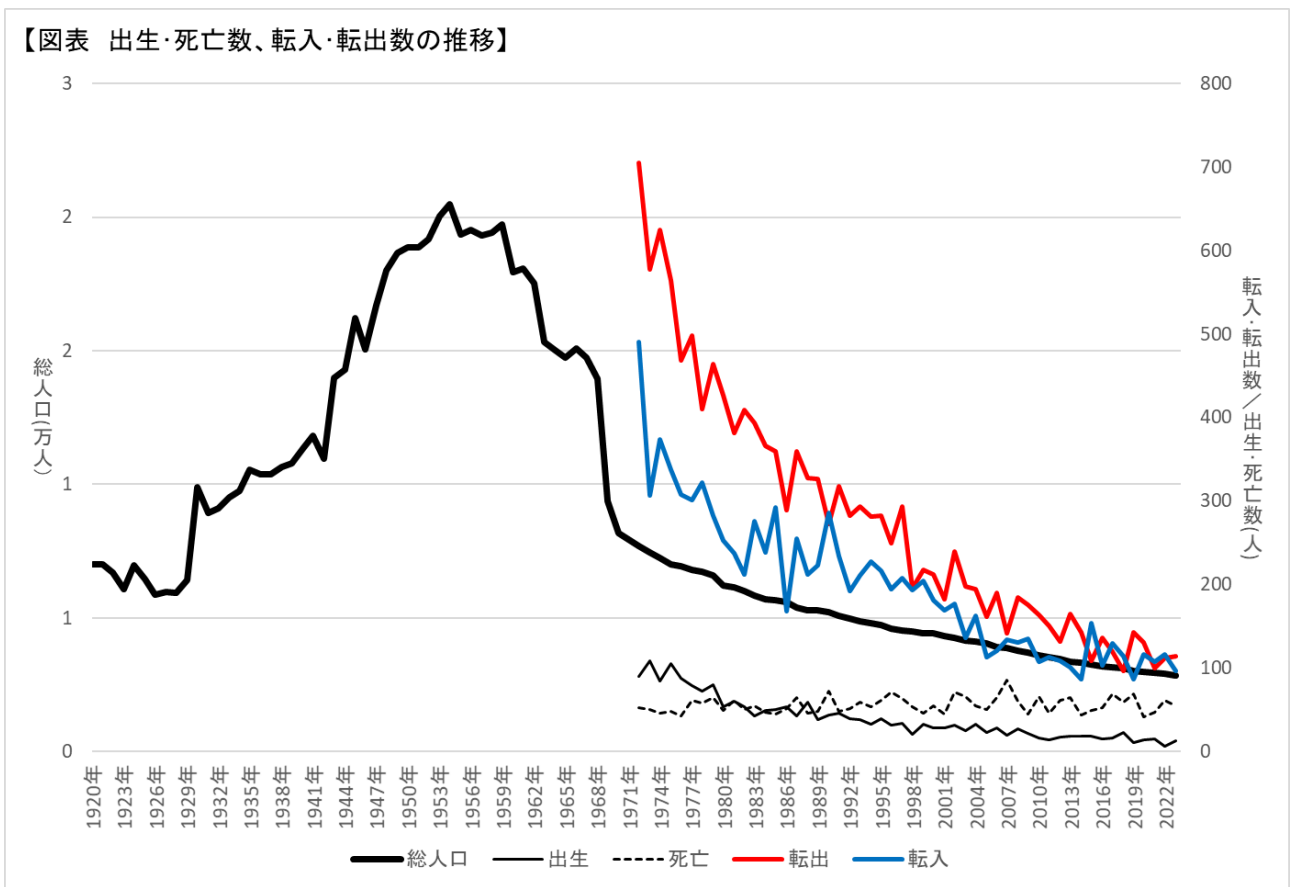
（1）人口減少、少子高齢化などの社会課題

①出生・死亡数、転入・転出数の推計

1972年（昭和47年）以降、自然増減（出生数－死亡数）については、沼田町の社会的背景などから母親世代の人口減少により出生率の低下や出生数が減少傾向にあったものの出生者数が死亡者数を上回っていたため「自然増」の状態であったが、1989年（平成元年）以降は逆転し、死亡数が出生数を上回り、「自然減」に転じています。

社会増減（転入数－転出数）については、2015年（平成27年）、2017年（平成29年）、2018年（平成30年）、2021年（令和3年）、2022年（令和4年）と、社会増となる年もありますが、多くは一貫して転出超過（「社会減」）が続いています。

【図表 出生・死亡数、転入・転出数の推移】

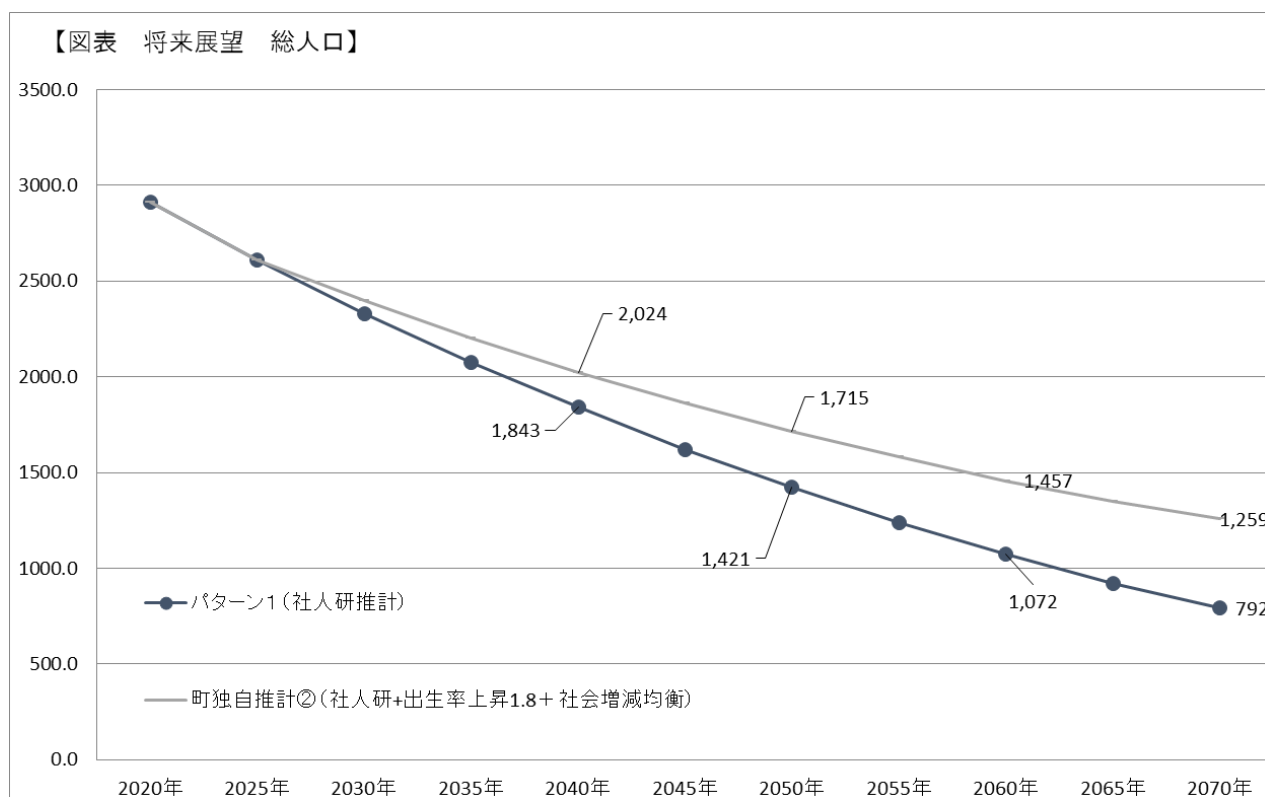


出展：1920年から1940年、1950年から2020年までの総人口は国勢調査、1945年は「空知の統計」、1972年から2000年までの出生・死亡・転入・転出数は「空知の人口」、2001年から2013年までは「沼田町月次移動集計表」より作成、2014年から2023年は北海道地域行政局市町村課調べ「住民基本台帳人口・世帯数及び人口動態」より作成

(2) 将来展望

① 将来人口の推計

社人研の推計によると、2050年の沼田町の人口は1,421人まで減少すると推計されています。



出典：2020年までの人口は国勢調査、2025年以降は社人研推計値より作成

沼田町では「子育て応援日本一のまち」を掲げ、子育て世代に重点に置き施策を推進しています。働き方や住む場所が変容しつつある社会的なトレンドと地方移住ニーズの高まりを的確に捉え、各種施策を積極的に展開していくことで、沼田町人口ビジョンで掲げる、合計特殊出生率1.8と社会増減ゼロのとおり達成されれば、2070年の人口は1,259人となり、社人研推計と比較して467人増の施策効果が見込まれることから、長期的展望に立った取組みが重要です。

(3) 沼田町の地域ビジョン（目指すべき理想像）

沼田町では、人口減少に歯止めをかけ、住民とともに地域づくりを進めていくため、沼田町総合戦略を策定し、各施策に取り組んできました。

人口減少が及ぼす地域社会・地域経済の衰退が懸念される中で、人口減少の時代に地方が真に成長し続けるためには、行政だけでなく地域の住民が様々なかたちで地域づくりに参加することが必要です。

豊富な地域資源を磨き上げ活かすために、先人たちより受け継いできた、沼田町の素晴らしい財産と限りない地域資源をまちづくりに活かし、将来に渡ってこの町にずっと安心して暮らせるよう沼田町では、町民全員が主体と想像力をもって地域の一体感をつくり出して町民の皆さまの「知識や経験」を「知恵」に変え、常に地域間の「競

争」と「共創」を意識しスピード感を持ったなかで、「共創協働のまちづくり」を進めていきます。

また、地方創生の担い手である住民とともに総合戦略を策定し、今後の事業も協働して推進して行きます。沼田町は、住民とともに参加型の地域づくりを行うことで、地方の小規模自治体における持続可能な事業運営と成長を実現し、子どもたちに帰ってきてもらえる「夢と希望と誇りの持てるまちづくり」の実現に向け、「夢とやさしさにあふれる小さな町の大きな挑戦」をスローガンに「オールぬまたで輝かそう！ぬまたの未来」を合言葉として、町民皆様と100年後を見据えたまちづくりに取組みます。

(4) 地域ビジョン実現に向けたこれまでの歩み

沼田町の地域ビジョン（目指すべき理想像）の実現に向けては、沼田町の地域特性や地域資源などを踏まえ、施策間・地域間の連携を図りながら、国等の支援を有効に活用し取組みを進めてきました。

先行的な取組みとして、2013年度（平成25年度）に「沼田町農村型コンパクトエコタウン構想」を策定し、内閣府の地域活性化モデルケースにも認定され、住民とともに本町独自の地方創生に取り組んできた結果、個々の取組みについては一定の成果を上げてきています。

3 目標の設定

①基本目標と目標設定における考え方

第3期沼田町総合戦略においては、沼田町の地域ビジョン（目指すべき理想像）の実現に向け、国及び北海道の総合戦略の趣旨を勘案しつつ、以下の4つの基本目標を掲げ、これに関連した施策を位置づけました。

4つの基本目標

基本目標1 若者たちが働きたいと思えるような魅力ある産業の創出

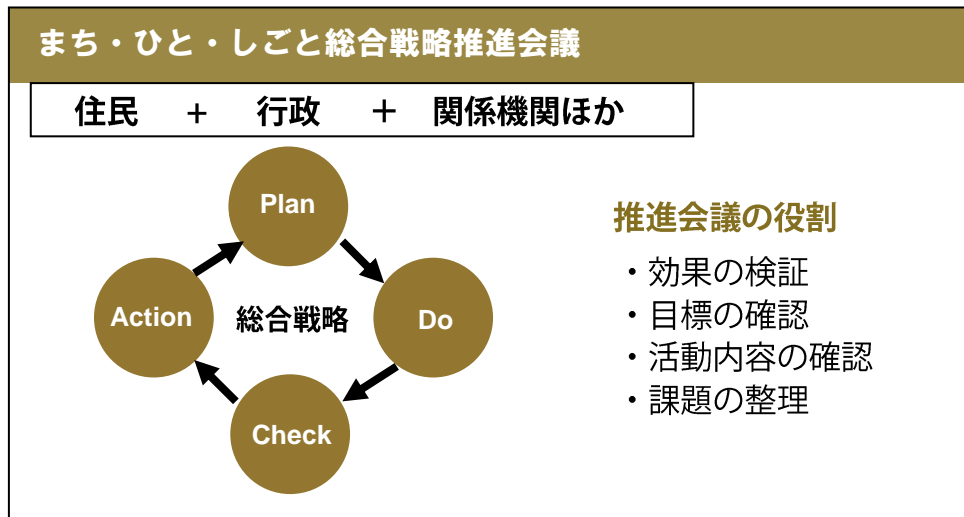
基本目標2 多様なひととの繋がりを大切にし100年後も持続可能なまちづくりを目指す

基本目標3 子どもたちが帰ってきたくなる夢と希望と誇りのもてるまちづくりを目指す

基本目標4 いつまでも安心して暮らし続けることが出来る住民福祉が向上するまちづくりを目指す

4 取組み体制と PDCA サイクルの確立

戦略の期間中は、事業の達成度や時代潮流の変化を確認するために定期的な見直しを行います。総合戦略で実施する各施策には、重要業績評価指標（KPI）を設定し、達成度や効果等を客観的に検証し、継続的に事業を改善していきます。このような仕組みを推進していくために、産官学金労言及び住民の代表者等から構成される「まち・ひと・しごと総合戦略推進会議」を中心に協働によるまちづくりを進めていきます。



5 持続可能な開発目標（SDGs）の推進

国際社会全体の共通目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」と第3期総合戦略の施策を関連付けて地方創生の取組みを進めていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



第3章 具体的な施策

1 具体的な施策

第3期総合戦略においては、人口減少と少子高齢化が進展する中であっても、沼田町第6次総合計画の将来像である「子どもたちが誇りをもてる ふるさと創造 沼田町」に向かって、誰もが将来にわたってずっと住み続けられるまちづくりを目指すために、次の4つの重点戦略プラン（基本目標）を定めます。

また、基本目標毎に第2期総合戦略の検証や新たな視点を踏まえ、施策の基本的方向と具体的な施策を定めて取組みます。

基本目標1

若者たちが働きたいと思えるような魅力ある産業の創出を目指す



地域に潜在する豊富な資源の磨き上げと人材を活かし、若者たちが働きたいと思えるような魅力ある産業の創出を目指します。

基幹産業である農業においては、持続可能な力強い農業構造の確立に向けた取組みとして、スマート農業の推進に向けた通信環境の改善を図り、スマート農業を広く普及するため「農業所得向上対策」を拡充し推進していきます。

また、「加工用トマト生産量日本一のまち」を目指して、機械収穫や農福連携の実現に向けた取組みを進めていきます。

持続的な町内経済の活性化を目指して、新たな起業や商業活動、商品開発及び事業の継承・継続を推進と併せて、オンライン相談会やまちの見学ツアーを実施し、本町の魅力や優位性を全面的にアピールし、積極的かつきめ細やかな企業誘致活動を展開します。

基本目標2

多様なひととの繋がりを大切にし100年後も持続可能なまちづくりを目指す

す



沼田町には、夜高あんどん祭りやほたる、化石や雪エネルギーなど他にはない特色ある資源があり、それらを活かし、世界に誇れる環境を創り出すことで、様々な「ひと」が体験・交流・活動できる持続可能な魅力あるまちづくりを進め、沼田ならではの取組みを世界に発信することで、交流人口・関係人口の拡大を目指します。

この沼田町独自の魅力あるブランド力を高め、きめ細やかな取組みを強化・町内外に発信することで、移住定住につなげていきます。

また、オールぬまたで地球環境を守るための取組みとして、町民全体で活動できる具体的な対策を定め、積極的に取組んでまいります。

基本目標3

子どもたちが帰ってきたくなる夢と希望と誇りのもてるまちづくりを目指す



将来子どもたちが沼田町に帰ってきて活躍し、国際社会をたくましく生きるグローバルな人材を地域ぐるみで育てていくため、沼田ならではの教育による地域学習と英語教育に取り組むとともに、様々な生きた経験を体験できるキャリア教育の充実を図り、また元気にのびのびと運動ができるよう、部活動の地域移行も含む町内スポーツ環境の充実を図ることによる本町独自の教育環境づくりを進めていきます。

子育て世代においては、子育て世帯に対する支援日本一を目指して、更なる子育て支援策の充実や日常の不安や悩みを解決できるよう子育て環境の整備を図り、妊娠・出産から子どもの成長過程にあわせた切れ目のない支援を行い、誰もが住んでみたい、住んでよかったと安心して子育てできるまちづくりを進めていきます。

基本目標4

いつまでも安心して暮らし続けることが出来る住民福祉が向上するまちづくりを目指す



町民皆さまが何時までも安心して続けることができる「住民福祉の向上」を基本として、人生100年時代を見据えた、「見守り環境の構築」や「歩いて暮らせるまちづくり」を進め、元気な高齢者がいつまでも活躍できる場づくりを目指します。

また、将来にわたって町民の生活を支える持続可能な公共交通体系の構築と、地方創生によるまちづくりに向けた取組みを着実に進めていくためにも、未来につながる新たな公共交通の確保を目指します。

2 総合戦略の全体構成

第3期沼田町総合戦略4つの基本目標と具体的施策



3 総合戦略の具体的な施策

【基本目標 1】

若者たちが働きたいと思えるような魅力ある産業の創出 を目指す

指 標	基準値	目標
生産年齢人口数	1,412 人	1,115 人

※住民基本台帳より

【具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）】

方針 1：魅力ある農業をつくる

基幹産業である農業において、農家人口の減少や農業従事者の高齢化が進む中で、農業の持続的発展、農作業の省力化・効率化を図るため、スマート農業を進め、魅力ある稼げる農業を目指します。

具体的な施策・事業	KPI
<p>◆施策 1：新規就農、参入支援策の充実</p> <p>農業経営者の高齢化や労働力不足の課題に対し、魅力ある農業を創る人材の確保と育成を行います。五カ山地区にある就農支援実習農場を活用した新規就農育成プログラムを構築し、都市部から地域おこし協力隊による農業支援員を招聘した指導育成を行うことで、人材の確保と定住を図ります。また、農業系大学と連携し、農業繁忙期における大学生の受入を行うことで労働力の確保を図ります。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none">・ぬまたアグリファーム運営事業（農業新規参入推進事業・農業研修生受入事業）・地域おこし協力隊事業・農業者育成研修施設開設事業 等	新規就農を目指す研修生 (協力隊含む) 延べ5人

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策2：農業生産法人化の推進</p> <p>農業経営者の高齢化等から規模縮小や離農も想定され、新たな雇用の創出や労働力の確保を図ることで耕地面積を維持し、農業経営の複合化や6次産業化の推進による所得の向上に対する支援等を行います。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業所得向上対策事業（法人設立、法人協業化組織機械導入、法人ネットワーク設立支援 等） ・6次産業化推進事業 等 	<p>新規設立農業生産法人数 延べ2件</p>
具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策3：スマート農業の推進</p> <p>生産性の飛躍的な向上や作業の省力化・効率化を実現するため、スマート農業を進めるとともに、これらを駆使できる農業者等の育成を支援します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業高度化実践事業 ・ICT活用における農業人材育成事業 ・中山間携帯不感地域解消事業 等 	<p>スマート農業に取り組んだ農家戸数 延べ25件</p>
具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策4：農福連携の推進</p> <p>就農支援実習農場をフィールドの中心として、障がい者、高齢者、町内介護福祉施設等の利用者が社会参加、生きがいづくりとなる農福連携を進めます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農福連携事業 ・障がい者雇用対策事業 ・障がい者通所施設開設事業 等 	<p>農福連携等による就労者数 年間平均10人</p>

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策5：農産各品の販路拡大・商品開発</p> <p>沼田町の特産品である「雪中米」や「トマトジュース」等の更なる販路拡大のため、ふるさと納税者や東京にある北海道アンテナショップ、東京23区との交流等でPRを行うことにより販路を拡大します。</p> <p>また農産物を活かした商品開発、ご当地グルメの開発を進め、地産地消の推進を図ります。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化推進事業 ・作付全道一加工用トマト作付拡大推進事業 ・雪中米販路拡大事業 ・特産品等販路拡大事業 ・特産品及びご当地グルメ開発等地産地消事業 ・学校給食を通じた地産地消推進事業 等 	<p>特産品や農産加工品の新規 販路成約件数 年間 15 件</p> <p>新たな商品開発 1 品</p>

方針2：NUMATA TOMATO TOWN 構想の推進

加工用トマト生産量日本一のまちを目指し、基幹産業である農業を中心とした事業を町全体に波及させ、町民が充実感や満足感を得られる事業となるよう取り組みを進めます。

また、町内の様々な資源を活用した循環型事業となるよう図ると共に、若者が働ける場の創出を目指します。

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策1：トマト羊の肥育</p> <p>民間企業により現在使用していない農用地を活用し、地場産飼料であるトマト粕を食べさせた「とまと羊」の生産・販売を行い新たな産業の創出を図ります。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トマト羊の飼育・販売 ・町内飲食店での提供 ・新たな特産品の創出・活用 	<p>とまと羊飼育頭数 70 頭</p> <p>新たな商品開発 1 品</p>

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策2：加工用トマト作付面積の拡大 農業者の所得向上、国産トマト確保へ向け加工用トマトの機械収穫機導入による面積拡大を図ります。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工用トマト収穫機械導入事業 	<p>機械収穫導入件数 4件</p> <p>機械収穫導入面積 6ha</p>
具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策3：加工用トマト6次産業化の推進 作付面積の拡大、生産量の増加に伴い農産加工場の設備を拡充し生産力強化に努め、雇用・農業・産業の良好な循環を可能とする取り組みを進めます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産加工場製造設備能力拡充事業 	<p>製造ライン機能強化</p> <p>原料処理量年間 300t 増強</p>
具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策4：加工用トマトを活用した地域活性化 国産トマト確保へ向け若者移住を促進し、雇用創出、町内未利用地を活用した加工用トマト栽培を進めます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トマト村開設事業 ・加工用トマト拡大推進事業 等 	<p>若者移住者件数 3件</p> <p>未利用地活用面積 20a</p>
具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策5：加工用トマトの魅力発信 加工用トマトのまちを町内外の消費者へ積極的にアピールするため、魅力発信事業を実施し交流人口増加に努めます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭菜園加工用トマト栽培事業 ・加工用トマト魅力発信事業 	<p>家庭菜園栽培者数 10件 (2,000株)</p> <p>家庭菜園栽培面積 27a</p> <p>魅力発信事業参加者数 年間延べ 2,000名</p>

方針3：商工業の振興

町内企業の事業継続・魅力アップのための取組みの推進と併せて、新たな雇用の場を確保するため、引き続き企業誘致活動を進め、企業立地を進めていきます。

具体的な施策・事業	KPI
<p>◆施策1：企業誘致と工業団地の確保</p> <p>新たな企業誘致に向け、引き続き企業誘致活動を進めるとともに、魅力的な工業団地の確保に努めます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致推進事業 ・企業誘致アンケート調査 ・企業訪問活動 ・企業立地促進補助金 ・サテライトオフィス設置促進事業補助金 ・サテライトオフィス等誘致推進事業 ・地域商社構築支援 ・企業や学校との連携事業 等 	<p>新規企業誘致数 延べ1件</p>
具体的な施策・事業	KPI
<p>◆施策2：町内企業の取組み事業の推進</p> <p>魅力ある住みやすいまちづくりを促進するため、事業承継等の事業を継続するための取組みや商品開発・販路拡大等に取り組もうとする商工業者に対して支援します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業継続・魅力向上ぬまた活性化支援事業 ・地域おこし協力隊（商工業支援員）事業 ・事業承継サポート事業 ・中小企業特別融資利子及び保証料補助事業 	<p>事業承継者 年間1件</p>

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策3：企業版ふるさと納税の推進</p> <p>企業版ふるさと納税による町と企業によるつながりを強化し、まちの魅力を全国の企業に発信していきます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業版ふるさと納税のPR 戦略 	<p>沼田町の取組みを応援してくれる企業数 年間 12 社</p>
具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策4：新たな起業の促進</p> <p>町内の新たな起業を促進し沼田町の経済活性化を図ります。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業継続・魅力向上ぬまた活性化支援事業 ・地域おこし協力隊起業支援事業 ・商工会との連携サポート 	<p>町内起業数 年間 2 件</p>

方針4：雇用対策の推進

人出不足の解消、地元の子どもが本町で仕事ができる環境づくりを進めるとともに、女性や高齢者などが活躍できる体制を構築していきます。

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策1：若者の新規就業・回帰の促進</p> <p>高卒・大卒者を中心に沼田町でしごとを見つけ、定住していただけるよう就職説明会やインターンシップなどを実施するとともに、U I J ターン支援策なども実施し若者の雇用対策を進めます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・U I J ターン新規就業支援事業 ・しごと・未来応援プロジェクト事業 ・地域おこし協力隊起業支援事業 ・奨学資金貸付事業（貸付金、償還免除枠の拡大） 等 	<p>30 歳未満の移住者のうち就業した方</p> <p>年間 15 人</p>

具体的な施策・事業	KPI
<p>◆施策2：地域における雇用対策</p> <p>町無料職業紹介所「ぬまわーくサポートデスク」を中心に、求職者及び求人者への情報提供を進めます。</p> <p>また、企業説明会等については、北空知広域で進めます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町無料職業紹介所「ぬまわーくサポートデスク」 ・しごと・未来応援プロジェクト事業 ・移住定住関連事業（連携） ・沼田町介護職員人材バンク ・保育士、介護従事者人材確保支援事業 ・奨学資金貸付事業（貸付金、償還免除枠の拡大） 等 	<p>無料職業紹介所による 就業者数</p> <p style="text-align: right;">延べ20名</p>
具体的な施策・事業	KPI
<p>◆施策3：女性の多様な働き方の支援</p> <p>しごとと家事の両立ができるよう福祉や高齢者の家事支援、農業の手伝いなど小さな仕事を募集し、短時間就労の希望者とのマッチングを行います。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町無料職業紹介所「ぬまわーくサポートデスク」 ・ワーク・ライフ・バランスの実現 等 	<p>無料職業紹介所による女性の就業者数</p> <p style="text-align: right;">延べ10名</p>
具体的な施策・事業	KPI
<p>◆施策4：高齢者活躍の場の創出（雇用関連）</p> <p>町内における元気な高齢者がいきがいつくりのひとつとして雇用やボランティアに関われる体制を支援します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町無料職業紹介所「ぬまわーくサポートデスク」 ・高齢者就労支援事業所 等 	<p>高齢者就労支援事業所登録者数</p> <p style="text-align: right;">30人</p>

【基本目標 2】

多様なひととの繋がりを大切にし100年後も持続可能な まちづくりを目指す

指 標	基準値	目標
社会増減数（単年度）	▲8人	±0人

【具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）】

方針 1：移住定住の促進

東京圏の一極集中を是正するために、更に町のブランド力を高め、他町にない魅力を発信することによる移住マネジメントを積極的に展開するとともに、移住後もきめ細やかなサービスの提供を図ります。

具体的な施策・事業	KPI
<p>◆施策 1：沼田ブランドの強化</p> <p>沼田町にしか出来ない沼田町らしさ（ブランド）を磨き上げ、他町との差別化を図りながら、「住んでよかった」と実感できる事業を展開し、移住定住へとつなげます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住定住ブランディング戦略事業 ・町外通勤者移住支援事業 ・子育て世帯町外通勤者支援事業 ・ぬまたライフサポート事業（米どころに生まれてよかった事業） ・がんばる高校生応援手当事業 ・セルフリノベーションハウス事業 ・地域おこし協力隊事業 等 	<p>移住相談を受けた方のうち移住した件数</p> <p>年間 30 件</p>

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策2：お試し住宅による移住促進</p> <p>移住希望者が沼田町の生活を体験し、移住のきっかけとするちょっと暮らしを積極的にPRし移住促進に努めます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働きながらのちょっと暮らし事業 	<p>お試し住宅稼働率 年間 30%</p>
具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策3：住まいの充実による移住・定住の促進</p> <p>町内には単身者のニーズに合う住宅が不足しています。また、親と同居する若者世代が自立し、結婚を促進する住宅の整備も必要です。子育て世代を対象とした住宅を含め、民間と連携し不足する住宅の整備を進め、若者の移住定住を促進します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間賃貸住宅建設促進事業 ・住んで快適住まいる応援奨励事業 ・ヤング世代移住促進家賃助成事業 ・子育てファミリーサポート住宅整備事業 ・新規就農者及び医療・介護職員用住宅整備 ・地域おこし協力隊定住支援事業 ・移住定住促進住宅整備事業(中間管理住宅) 等 	<p>住宅の整備による定住者数 年間 15 人</p>
具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策4：移住相談窓口の充実</p> <p>定住支援員、移住コーディネーターを配置し、ワンストップサービスの充実を図り、移住者が移住後も地域住民との交流が図れるよう事業を展開します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住コーディネーター、定住支援員の配置 ・移住者交流事業 等 	<p>移住相談を受けた方のうち 移住した件数 年間 30 件（再掲）</p>

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策5： U I J ターン移住のためのツールづくり</p> <p>U I J ターン移住のきっかけづくりを行うため、支援事業を充実するとともに移住フェアなど積極的なP R活動を実施します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ U I J ターン新規就業支援事業 ・ 移住フェア並びに新規就農フェアへの積極的参加 ・ 地域おこし協力隊起業支援事業 ・ 孫ターン奨励金事業 ・ 奨学資金貸付事業（貸付金、償還免除枠の拡大） 等 	<p>移住相談を受けた方のうち 移住した人数</p> <p style="text-align: right;">年間 45 人</p>

方針 2：関係人口の創出・拡大

本町には、夜高あんどん祭りやほたる・化石・クラウド 15号蒸気機関車など他にはない特色ある資源があります。この地域資源を一体的に取り組む持続可能な高付加価値な観光づくりを展開し、様々な「ひと」が体験・交流・活動できる持続可能な魅力あるまちづくりを進め、交流人口・関係人口の拡大を目指します。

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策 1：地域資源を活かした関係人口の拡大</p> <p>緑豊かな自然を舞台に、「夜高あんどん祭り」や「ほたる」、「化石」、「クラウド 15号蒸気機関車」など本町の地域資源・農産物や観光施設の情報を一体的に取り組み、「見る」「体験する」「交流する」ことで交流人口・関係人口の拡大を図ります。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほたる学習館管理事業 ・サテライトオフィス及びワーケーションの推進 ・夜高あんどん祭りの開催 ・夜高あんどん継承事業 ・夜高あんどん祭りVR映像撮影事業 ・活！ぬまたステップアップ事業 ・ほたる祭りの開催 ・沼田町ほたるの里 夏のSNOWマラニック ・化石体験・調査研究事業 ・農業体験型親子交流事業 ・炭鉄港PR 関連事業 ・インバウンド関連事業 ・北海道及び近隣町との広域連携による事業 ・関係人口創出アドバイザー ・幌新地区魅力創造マイスター ・クラフトビール工場整備事業 ・沼田町特産品開発事業（クラフトビール） ・JR留萌本線沿線自治体連携廃線イベント ・幌新地区魅力発信事業交付金 ・沼田町食の魅力発信拠点運営事業 等 	<p>観光入込客数</p> <p>年 150,000 人</p>

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策2：にぎわいのあるまちなかづくり</p> <p>町内消費の推進や、まちなかほっとタウンを中心とした中心市街地に、活気を取り戻すため活力とにぎわいのあるまちづくりを進めます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にぎわい交流創出事業 ・沼田町にぎわい交流創出事業 ・商工会活性化サポート支援 ・事業継続・魅力向上ぬまた活性化支援事業 ・沼田町商工業活性化チャレンジ支援事業 ・チャレンジショップ活動の場創出事業 ・沼田町駅未来協議会補助事業 ・JR利用促進事業 等 	<p>チャレンジショップ等新規活動の場 年5件</p>
具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策3：観光を中心としたインバウンド対策</p> <p>今後、北海道において外国人の旅行者が増えることが予想されるため、地域資源の更なる磨き上げをし、「行ってみたい」「また行きたい」と思ってもらえるPR戦略を進め交流・関係人口の拡大を目指します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド対策事業 ・インバウンド対応人材育成事業 ・着地型観光旅行商品開発事業 ・教育旅行受入協議会補助金 等 	<p>観光を中心とした外国人宿泊者数 年50人</p>
具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策4：北海学園大学等との地域間交流</p> <p>町と連携協定を結んでいる北海学園大学や沼田町と関係のある大学と連携し、町と大学等のそれぞれの課題や問題解決できるマッチングに取り組んでいきます。また地域での活動や各行事の参加により地域住民との交流を深め、継続的な関係性を構築し関係人口の拡大を進めます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町と大学（団体）間連携事業 ・セルフリノベーションハウス事業 ・着地型旅行商品開発事業 ・青山学院大学インターンシップ ・鳥獣被害防止対策及び加工用トマト生産拡大事業 等 	<p>大学生等訪問人数 年100人</p>

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策5：ふるさと納税による関係人口拡大</p> <p>ふるさと納税の返礼品発送時にふるさと応援隊の案内を同封し、沼田町の応援隊となってもらうことで、継続的に沼田町の取組みを発信できるようになり、ふるさと納税者寄付者から関係人口への移行を図る。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税のPR戦略 ・ぬまた応援サポーター制度 等 	<p>ふるさと応援隊の登録者数 年10人</p>
具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策6：広域的な地域づくりの推進</p> <p>各市町と連携し、それぞれの特色ある資源を活用したまちづくりを展開するとともに、課題解決を互いに共有し解決できる更なる連携体制を進めていきます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北空知1市4町による定住自立圏構想 (深川市・秩父別町・北竜町・妹背牛町・沼田町) ・北空知広域での部活動地域移行・展開の取組 (深川市・秩父別町・北竜町・妹背牛町・雨竜町・沼田町) ・学校給食による地産地消事業 ・小平・幌加内・沼田3町広域振興協議会 ・「書かない窓口とコンビニ交付」事業 等 	<p>新たな広域連携事業の検討 年2件</p>
具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策7：民間企業等との連携による関係人口の拡大</p> <p>行政と企業が連携し、それぞれの強みを活かしながら力を合わせて地域の活性化を図ります。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道イエロースターズとの連携事業 ・日本トーカーパッケージとの連携事業 ・株式会社 alpha との連携事業 ・NPO法人そらち自然学校との連携事業 	<p>地域の活性化を図るための 取組み企業数 4社</p>

方針 3：ゼロカーボンの推進

持続可能な地域（拠点）を作り、地域内で経済を循環できる環境を目指して、マイクログリッドの整備検討や雪エネルギー利活用の普及促進に取り組んでいきます。

また、オールぬまたで地球環境を守るための取組みとして、町民全体で活動できる具体的な対策の推進としてゴミの減量化などに取り組んでまいります。

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策 1：CO2 排出抑制への取組み強化 町独自で実施しているリサイクル事業により更なるゴミの減量化を推進します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古着回収リサイクル事業 ・小型電子機器等リサイクル推進事業 ・生ごみの減量化事業 ・宅配ボックス設置助成事業 等 	<p>排出されるゴミの減量率 町民 1 人当たり 3%減</p>
具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策 2：脱炭素の取組み啓蒙 ゼロカーボンシティ宣言を令和 3 年に宣言し、森林整備や新エネルギー導入に向け、環境に優しいまちづくりに「オールぬまた」で取り組むため、啓蒙活動を推進します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EV 充電設備導入事業 ・ゼロカーボンポスター・標語コンクール ・沼田町森林資源活用促進事業 等 	<p>脱炭素関連新規啓蒙事業 15 件（年 3 件）</p>
具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策 3：再生可能エネルギーの活用推進 事業者及び個人向け支援策としての再生可能エネルギー施設等導入に関する支援を実施し、脱炭素に向けた更なる取組みを促す。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沼田町再生可能エネルギー設備等導入支援事業 ・再生可能エネルギーの活用可能性調査 ・太陽光発電設備設置奨励事業 等 	<p>再生可能エネルギーの普及 件数 年間 2 件</p>

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策4：雪エネルギーの利活用</p> <p>雪冷熱エネルギー等の利活用による産業振興や雇用の創出に向けた取組みを推進します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利雪研究事業 ・食料貯蔵流通基地構想事業 ・沼田式雪山センター事業 ・雪氷桜プロジェクト事業 等 	<p>雪エネルギーの導入件数 1件</p> <p>雪活用事業件数 年2件</p>

【基本目標3】

子どもたちが帰ってきたくなる夢と希望と誇りのもてるまちづくりを目指す

指 標	基準値	目標
産後に地理的条件を理由に転出する人がいない	0人	0人

※基準値（R1～R5の平均値）

【具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）】

方針1：子育て環境の充実・支援、結婚への支援

更なる子育て支援策の充実や日常の不安や悩みを解決できるよう子育て環境の整備を図り、妊娠・出産から子どもの成長過程にあわせた切れ目のない支援を行う、安心して子どもを育てていくことができるまちづくりを目指すとともに、結婚を希望する男女の出会いの場を創出、支援します。

具体的な施策・事業	KPI
<p>◆施策1：出産・子育ての相談支援の場づくり</p> <p>子育て世代包括支援センターを中心に、子育ての包括的な支援に努めます。また、誰もが気軽に話し合えるコミュニティづくりも併せて行います。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none">・マタニティクラブの実施・訪問・通所型産後ケア事業・子育てサロン交流事業 等	<p>相談支援、コミュニティの場に参加する人数</p> <p>年15人</p>

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策2：子育て施設の充実と人材育成</p> <p>認定こども園や子育て交流広場を中心に親子が集う場、相談事業を推進します。また、専門的な子育て支援員の配置や住民とのサポート体制を構築し、安心して育てられる環境整備を進めます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園運営事業 ・子育て交流広場「えがお」運営事業 ・ファミリーサポート事業 ・子育て支援員の配置、子育てボランティア事業 ・ファミリーホーム開設事業 ・保育士人材確保事業 ・子育てカウンセラーの任用 等 	<p>ファミリーサポート事業 利用者数</p> <p style="text-align: right;">年 10 件</p>
具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策3：子どもの健康を守るための支援の充実</p> <p>子どもの医療費、予防接種等の経済的支援を拡充し、子どもの健康を守ります。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人風疹ワクチン予防接種助成事業 ・乳幼児等任意予防接種助成事業 ・乳幼児等医療費助成事業 ・乳幼児健康診査、歯科健診・フッ素塗布事業 ・中学生、高校生医療費助成事業 等 	<p>子育て世帯における子育て支援策の満足度</p> <p style="text-align: right;">80%</p>
具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策4：妊娠及び出産の経済的支援の充実</p> <p>安心出産できるよう、妊娠出産期に係る支援を充実します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦健康診査等受診交通費助成事業 ・妊産婦一般健康診査等助成事業 ・特定不妊治療費助成事業 等 	<p>子育て世帯における子育て支援策の満足度</p> <p style="text-align: right;">80%</p>

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策5：交流の場の創出と結婚支援</p> <p>農業後継者の結婚支援として、農業に興味を持つ独身女性との交流パーティーを都市部において企画し、交流から成婚に繋がるよう支援します。</p> <p>また、民間企業と連携した結婚相談窓口を開設し、自信を持って恋愛や結婚に望むことができる若者を増やすための事業や講座・セミナーを開催し、結婚支援のサポートを充実させます。</p> <p>さらに、テーマ型コミュニティの創出により若者同士の交流を図るため、お試し住宅を活用したサークル活動の充実を図ります。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アグリパートナー対策推進事業 ・グループ婚活支援事業 ・結婚新生活応援事業 ・ライフパートナー探し応援事業 等 	<p>婚姻届出数</p> <p>年間8件</p>

方針 2：沼田らしい教育づくり

沼田ならではの学びの好循環を想像するためのため、夢や目標に挑戦し、生涯にわたって自己実現を目指す人、ふるさとに誇りを持ち、国際社会をたくましく生きる人を地域ぐるみで育てていきます。

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策 1：コミュニティスクールの推進</p> <p>学校・家庭・地域が連携した取組みである「コミュニティスクール」を推進し、地域全体で子どもたちの学びを支え、地域の「絆」をつなぐ新たな学校づくりに挑戦します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクール運営事業 等 	<p>学校運営協議会の活動に参加した人の延べ人数 100人</p>
具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策 2：国際化に対応できる生きた英語教育の推進</p> <p>国際化に対応できる教育のため、I C Tを活用した海外とのサテライト授業の実施、外国語指導助手の配置等を行います。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カナダポートハーディ地区(姉妹都市)との交流事業 ・台湾瑞穂郷国際交流事業 ・外国語指導助手（A L T）の配置 ・英語検定助成事業 ・海外とのオンライン交流事業の実施 ・生きた英会話教育の推進 等 	<p>中学校卒業段階で英検 3 級に合格した生徒の割合 40%</p>

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策3：小中一貫・教育「沼田学園」の推進</p> <p>沼田町では小中一貫教育「沼田学園」を強化し、社会で生きる人間力の育成に取り組んでいます。また、認定こども園も含めた一貫・連携教育をさらに進め、今後の社会で生きる実践的な力と学力の醸成を図るため沼田ならではの特色ある教育を実践します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一貫・連携教育推進事業 ・学校 I C T 整備事業 ・学校教育振興事業（特別授業） ・学力向上対策事業 ・学習サポート事業 ・奨学資金貸付事業 ・学校教育推進事業 ・学童保育「こどもつくる」の充実 ・体力向上対策事業 ・公設塾「みらい」開設事業 ・学校給食費無償化事業 ・修学旅行経費助成事業 ・中学校卒業生 半纏贈呈事業 ・中学校部活動生徒送迎事業 ・富山県小矢部市沼田町青少年交流事業(姉妹都市) ・不登校児童生徒学習サポート事業 ・沼田学園「特色ある学び」の推進と国際社会の人材育成事業 ・探求学習サポート事業 等 	<p>全国学力学習状況調査の平均正答率が全国以上 (全科目)</p> <p style="text-align: right;">45%</p>

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策4：子どもの身体と心のケアの充実</p> <p>子どもの体力の低下は精神面に大きな影響を与えます。児童生徒の心身の健やかな成長を支援するために、小中学校の給食費を無償化するほか、意欲や集中力を養うために、体力・運動能力の向上を図ります。また、スクールカウンセラーを配置し、多様化する子どもや保護者の心のケアを行います。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食費無償化事業 ・児童・生徒体力向上対策事業 ・補助教諭、スクールカウンセラーの配置 等 	<p>新体力テストにおいて全国平均値に到達している児童生徒の割合（体育）</p> <p style="text-align: right;">45%</p>
具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策5：沼田らしい学びの場、キャリア教育の充実</p> <p>家庭・学校・地域が連携し、まちぐるみで地域資源を生かした教育を行い、世界に羽ばたく子どもを育てます。</p> <p>また、自然体験、農業体験、夜高あんどん祭りの参加、地元の職場体験、海外文化体験など沼田町独自のキャリア教育の充実を図ります。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一貫・連携教育推進事業 ・キャリア教育の充実 ・シニアリーダー研修会の開催 ・自然体験キャンプ ・自然体験授業事業 ・沼田っ子の夢応援事業 ・沼田町 Two-way 留学事業 ・芸術文化鑑賞事業 ・中学生対象キャリア教育支援事業「ソクラテスミーティング in 沼田」 等 	<p>「自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがある」児童生徒の割合 70%</p>

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策6：多様な学習活動の推進</p> <p>町民一人ひとりが豊かな人生を送られるよう、文化や趣味に触れる機会を創出します。</p> <p>また、全世代が健康づくりとスポーツを楽しむ機会を設けるとともに環境づくりを推進します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きがい講座 ・いきいき大学 ・町民芸術祭 ・地域環境博物館 ・社会教育推進事業 ・各種スポーツ大会の開催 ・体育振興事業 ・水泳教室 ・町民スポーツまつり ・ラジオ体操運営 ・明日萌ほたるの里ウォーキング ・少年野球教室 ・図書館事業 ・化石体験館・レプリカ工房管理運営 ・町民会館管理運営 ・宿泊交流センター管理運営 ・文化財収蔵センター管理費 ・町民体育館管理運営 ・町民スキー場管理運営 ・海洋センター管理運営 ・町民パークゴルフ場管理及び大会運営 ・部活動地域移行推進事業 ・体育館改修の検討 等 	<p>町民が社会教育に関する事業に参加する数</p> <p style="text-align: right;">年間 4,000 人</p>

【基本目標 4】

いつまでも安心して暮らし続けることが出来る住民福祉が 向上するまちづくりを目指す

指 標	基準値	目標
特定健診受診率	58.5%	60.0%
要介護認定者数	166 人	150 人

※基準値＝特定健診受診率（R5 年度数値）、要介護認定者数（R5 決算数値）

【具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）】

方針 1：地域包括ケアシステムの実現

高齢者の医療を含む相談支援、生活習慣病や介護予防、健康づくり、住まい等、多世代型の地域包括ケアシステムを実現します。また、予防及び健康活動に力を入れることで医療費負担を削減し、その財源で子育て支援をさらに充実したものとすることで、町民誰もが健康で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

具体的な施策・事業	KPI
<p>◆施策 1：在宅・施設サービスの充実</p> <p>「暮らしの安心センター」を拠点に、高齢者の在宅医療福祉サービス、介護関連施設のサービス向上を図り、高齢者が生きがいをもち、安心して住み続けられるよう地域包括ケアの実現を目指します。</p> <p>また、将来にわたり安定した医療・介護サービスを提供するためには、介護職員を中心とした人材確保が必要であり、雇用対策及び処遇改善、魅力ある働きやすい職場環境づくりを推進します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none">・除雪費助成事業・生きがいデイサービス事業・外出支援サービス事業・外出支援サービス事業	<p>高齢者が将来、介護が必要になった場合の生活において「自宅で生活したい」と思う割合</p> <p>51%</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・介護アドバイザー人材招聘事業 ・介護・医療人材雇用対策事業 ・外国人雇用対策の検討 ・地域包括ケア会議 ・介護従事者確保就業支援事業 ・介護職員人材バンク事業 等 	
具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策2：予防・健康づくりの推進</p> <p>町民の健康意識を高める事業を展開するとともに、自発的に取り組むことができるようサポートします。</p> <p>また、ICTを活用した健康・見守りの体制を検討し、安心した暮らしの実現を目指します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防事業 ・健康運動指導事業 ・特定健診受診事業 ・ヘルシーウォーキング事業 ・暮らしの安心センター関連事業 ・コミュニティカフェ事業 ・ICT活用による健康づくり・見守り事業 等 	<p>介護予防教室等参加者数 (年間延べ人数)</p> <p style="text-align: right;">2,100人</p>
具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策3：医療福祉の経済的支援</p> <p>町民が健康で暮らすことができるための検診や予防接種等を行います。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種予防接種費用助成事業 ・各種健診等費用助成事業 等 	<p>特定健診受診率（再掲）</p> <p style="text-align: right;">60%</p>

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策4：高齢者世帯への経済的支援の充実</p> <p>高齢者世帯が安心して暮らせるよう経済的支援を行います。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者任意肺炎球菌予防接種費用助成事業 ・ 高齢者世帯等福祉灯油助成事業 ・ 高齢者等入院交通費助成事業 ・ 高齢者世帯除雪費助成事業 ・ 「この町に住んで良かった」住環境整備費助成事業等 	<p>高齢者が将来、介護が必要になった場合の生活において「自宅で生活したい」と思う割合（再掲）</p> <p style="text-align: right;">51%</p>
具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策5：高齢者活躍の場の創出（生きがい関連）</p> <p>高齢者がいきいきと暮らせるよう、趣味、ボランティア、雇用など活躍の場を創出するとともに、子どもも関わりを持てる地域全体での支えあいの場を検討していきます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者活躍の場創出事業 ・ ごちゃまぜの地域コミュニティづくり ・ 生きがい対策事業 ・ 高齢者雇用促進協議会の立ち上げ 等 	<p>新たな高齢者が活躍できる場</p> <p style="text-align: right;">5ヶ所・50人</p>
具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策6：食育の推進</p> <p>生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むための食育を推進します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 沼田町食生活改善協議会事業 ・ 食育関連事業 ・ 学校給食による地産地消事業 等 	<p>沼田町食改善協議会主催事業参加者数</p> <p style="text-align: right;">年間延べ80人</p>

方針 2：公共交通の確保・維持

公共交通網は、通院や通学などの移動手段として将来にわたって地域住民の生活を支えるとともに、地域間の人との交流に加え、物流輸送の基幹を担っております。

本町や圏域の産業・観光振興による地域活性化と、地方創生による持続可能な公共交通とまちづくりに向けた取組みを着実に進めていくためにも、未来につながる新たな公共交通の確保に取り組んでまいります。

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策 1：町内交通の確保</p> <p>交通弱者の移動手段を確保するため、利用のしやすい町内交通網の確保に努めていきます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乗り合いタクシー事業 ・ 沼田町留萌本線利用者代替交通支援事業 ・ 沼田町地域公共交通活性化協議会の開催 ・ 地域全体における交通システムの構築 等 	<p>安心して町内移動ができた人数（年間 15,000 人・延べ 75,000 人）</p>
具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策 2：持続可能な広域間交通の確保</p> <p>沼田町と深川間を繋ぐ広域間移動の確保を図るため、沿線自治体及び交通事業者との連携を密にし、持続可能な交通体系を維持していきます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空知中央バス生活交通路線維持補助金 ・ 沼田町地域公共交通従事者就業支援助成金 ・ バス利用機会創出事業 等 	<p>沼田町-深川市間の移動の確保</p> <p>18 便の確保</p>
具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策 3：新モビリティサービスの検討</p> <p>人材不足など深刻化する交通分野に関する課題解決へ向けた検討を進める。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種研修会への参加 	<p>デジタル技術を活用した交通課題の解決へ向けた検討</p> <p>年 3 回の参加・延べ 15 回</p>

方針 3：農村型コンパクトエコタウンの実現

市街地の歩いて暮らせる範囲に医療福祉・買い物・住まいなど、生活に必要なサービスを集約することで、コンパクトなまちを実現します。

具体的な施策・事業	KPI
<p>◆施策1：コンパクトなまちづくり</p> <p>高齢者を対象に、市街地の医療施設周辺の住まいや高齢者住宅への住み替えを推進し、コンパクトなまちを実現します。また、高齢者が安心して生活が続けられるよう、ICT技術を活用した取組みについても構築します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none">・あるくらす団地等におけるICT活用健康・見守り事業 等	あるくらす団地への入居者率 100%（年／入居率）

第3期沼田町総合戦略

令和7年4月

北海道 沼田町 産業創出課

〒078-2202 北海道雨竜郡沼田町南1条3丁目6番53号

電話 0164-35-2155 FAX 0164-35-2393

E-mail sangyou@town.numata.lg.jp